

受賞者代表挨拶

皆さんこんにちはフィリピンの南の島シキホール島から参りました原田です。島ではダーマンの愛称で呼ばれています。以前は平塚市の小学校の教員をしていました。現在はシキホール島でリゾートを経営しています。

私が教師をしていた時「青少年赤十字」の担当になり、子どもたちといろんなボランティア活動をやってきました。青少年赤十字の行動目標は「気づき考え実行する」です。「今できることは今やろう」

小学生は小学生なりにいろんな活動ができました。空き缶・食品トレー・古切手集めや、12月の「海外助け合い募金」では毎年駅前に立って呼びかけ、海外の恵まれない子どもたちを支援しました。

そうして私の目も海外に開かれ「海外日本人学校」を希望し、最初に派遣されたのが何とレバノンのベイルートでした。今もベイルートは大変ですが当時も内戦下でした。受け持った5年生の子と半年の付き合いでしたが、休校、休校で実際は50数日しか勉強できませんでした。授業中でも響き渡る銃声のバンバンといった音を聞きながらも頑張った6か月間、教わりたい子どもと教えたい教師の短いけど熱い絆ができました。そんな彼らも今年還暦を迎え、今月のクリスマスには還暦同窓会を開催する予定です。

私は教師を2004年に退職して「自分にできる何かを探し」に縁あってシキホール島にやってきました。ところが学校を回ってびっくり、何とほとんどの学校にトイレがない、水道がないのです。そこで私の「気づき・・」が始まりました。教え子たちに呼びかけ100万円もの寄付が集まりトイレ作りからスタートしました。

ロータリアンの友人のアドバイスで島のテニス仲間と現地でロータリークラブを立ち上げ、今までに40校の小学校に100ものトイレ、水タンクを設置し、幼稚園も作りました。

島の授業は通常「黒板とチョーク」だけの味気ない授業です。そこに私がお客様や学生たちを連れて行くと、折り紙や縄跳び、ドッジボールなどいろいろな楽しいことが満載なのでどこの学校でも、子どもたちは私の愛称「ダーマン、ダーマン」と、ダーマンコールで迎えてくれます。島の子が私を好きになり、日本人が好きになり、日本が好きになってくれたらうれしいです。



今、私は家庭の事情で上の学校に行きたくても行けない子どもたちを毎年10人カレッジに通わせ、卒業したら海外で働く支援をしています。

その支援のために、「命の木」と言われるモリンガを学校や家庭に植えてもらい、学生たちと収穫してお茶にして日本へ送り販売する活動をしています。

島起こしにもなっています。

若さを保つ、免疫力がつくと言われるモリンガ茶、私は現在81歳です。毎日学生たちとテニスをしています。風邪一つひきません。これもモリンガのおかげだと思っています。

よかったらみなさんもお試しください。

社会貢献支援財団の皆様、この度はこんな素晴らしい活動をされていらっしゃる皆様のお仲間に入れていただき本当にありがとうございます。

これを機会にもっとたくさんの子どもたちに明るい未来が開けるよう頑張っていきたいと思っています。

原田 淑人

来賓祝辞

ご紹介いただきました、日本財団会長の笹川です。月並みではありますが、表彰を受けました皆さん、おめでとうございます。安倍会長を先頭に評議員、理事の皆さん、多くの申請者の中から厳正に選考いただき本日を迎えることが出来ました。皆さんの表彰に改めて感謝と喜びを申し上げます。

皆さんご承知の通り、資本主義がいきつくところまで行きついたのではないでしょうか。アメリカの成功者の中には、既にフランスの年間予算を優に上回る時価総額を記録している人々もおります。一方で貧富の格差が天文学的数字になっています。それぞれの国において、貧困問題や障がい者支援、といった社会課題に行政が尽力しておりますが、全てに手が及んでいるわけではありません。日本でもそうです。多様化する社会、そして経済的な格差の中で様々な困難、生活に悩む方が沢山おられます。

こうした人をどうやって支援していくかが課題ではありますが、先に申し上げた通り行政だけでは対応できません。ここにお集まりの心ある皆さんに、草の根から「何かしなければ」と立ち上がって下さり、実践活動をしてくださっています。年2回の式典にお邪魔すると毎回素晴らしい活動をされている方がたくさんいることを知ることができます。伝統的な日本人の利他の心と申しましょうか「何が出来るのか」「何かしなければいけない」という気持ちが日本人には存在するのではないでしょうか。そしてここにお集まりの皆さんには、それを実践されているのだと思います。

私は日本人全てにこうした心があるのだと思います。本年1月には能登で地震があり水害もありました。テレビで状況を見て「何かしたい」という想いをもった人が日本財団に寄付を下さいました。その人数は16万人に上ります。金額の大小ではありません。宗教的に強制されるのではなく、自主的に「何か社会のために」という暖かい気持ちを持っていることが素晴らしいことではないでしょうか。識者は「日本に寄付文化がない」ともっともらしくおっしゃいますが、そんなことはありません。ただ、こうした素晴らしい日本の心が残っている中においても、格差社会や多様化する社会では対応できないこともあります。こうした社会課題に気づき、何かしないといけないという方が増えており日本社会のために貢献されているのだと思います。世界にはもっと大変なところも多々あります。海外でご活躍の皆さんの表彰もありました。こうした日本人の暖かい利他の心を広めることで、経済援助だけではない日本に対する



理解が広まっていると思います。

これからも健康に留意され活躍を願うと同時に、安倍会長からも話がありましたが、表彰された方々のネットワークを是非作り強化していただき、互いに連絡を取り合い、互いに新しい仕事のアイデアを生み出していってほしいと思います。1本より10本、100本の糸の方が強いのです。この社会貢献支援財団で表彰された方々のネットワークを作っていただき、協働の基盤が生まれ、日本、世界に対して利他の心を發揮してください。貧しい人、障がいを持った人など困難を抱えた人が多くいらっしゃるのはご承知の通りで、手の届く範囲、出来る範囲でやっていくことが大切ではないでしょうか。さらなる活躍を心から願い、本日の表彰に改めて衷心より崇高な精神と活動に感謝の誠をささげます。ありがとうございました。

公益財団法人日本財団

会長 笹川 陽平

表彰選考委員からのメッセージ(敬称略 五十音順)

■内館 牧子 選考委員長

脚本家、東北大学相撲部 総監督

私はこの選考に関わるたびに、毎年心を寄りますのは明治天皇の御製です。



「しきしまの 大和心のをゝしさは
ことある時ぞ あらはれにける」

日本人が持つ勇気、博愛、利他の精神等々は日頃は表に出なくても、何かあった時に表れる。見て見ぬふりはできない。日本人のみならず外国の方々もそうです。

毎年それを知り、私自身にできることをやろうと思わされています。



■大武 健一郎 委員

元国税庁長官
認定NPO法人ベトナム簿記普及推進協議会 名誉会長

社会貢献支援財団の選考委員に就任して、多くの方が下心もなく気の毒な方々を手助けするために、全力で活動しておられる姿を見し、日本人の優しさに改めて気付かされた。宗教に基づいて途上国の支援活動等をしている欧米人は多く見ることができる。しかし、皆様のように真の優しさから活動している方はあまり見られない。

マスコミも皆様のような活動を報道して、明るい未来に向けて、日本人の良い面を発信してほしい。

■小川 記代子 委員

産経新聞 東京本社 編集局 編集委員



世の中の理不尽に怒ったりしても、「しょうがない」で済ませてしまうことがある。受賞者の皆さんには済ませない人たちだ。「だけど…」と、一歩踏み出した人たちだ。その一歩が世の中に響く。理不尽さに響く。「しょうがない」で済ませようとしている私に痛いほど響く。選考しているとき、授賞式で、いつも響き渡っている。

世の中は理不尽だけど、このような皆さんに出会える世の中はそれほど悪くないと思う。



■久米 信行 委員

iU 情報経営イノベーション専門職大学 教授

毎年、選考委員会で候補者の活動を知り、表彰式や視察会で実際に受賞者の方々と交流させていただくことは、私にとって大切な自己反省の機会です。

微力ながら私もご縁のある公益団体のお手伝いをしてきましたが、まだまだ足りないと感じてしまうのです。還暦を過ぎた私よりも先輩世代が受賞者に多いことも大いに刺激になります。私も見習って精進し、もっとお役に立てる人間になろうと心を新たにするのです。

■吉永 みち子 委員

ノンフィクション作家、公益財団法人民間放送教育協会 会長



様々な分野で様々な形で社会を支えている皆様のご活躍、ご努力に接するたびに、世のセーフティネットという言葉を思います。網の目のような温かく細やかなネットによって何とか社会は維持できていると深く実感するとともに、継続の大変さもしのばれます。そして、授賞式でいつも印象に残るのは皆様の笑顔がとても素敵だということ。

どうかしんどい状況でも明るさと楽しさを忘れず、お元気でこれからも世の中の灯りをともし続けて下さることを願っています。



祝賀会









受賞者手記目次

第62回社会貢献者表彰 受賞者30組（敬称略）

原田 淑人	32
ハンド&ネイルケアボランティアチーム ガンチー	34
チャイルドライン ハートコール・えひめ	36
一般社団法人 あんしん母と子の産婦人科連絡協議会	38
NPO 法人 つばめの会	40
道村 静江	42
下町グリーフサポート響和国	44
認定 NPO 法人 ミュージック・シェアリング	46
社会福祉法人 ゆうかり	48
NPO 法人 ENDEAVOR EVOLUTION	50
公益社団法人 沖縄県母子寡婦福祉連合会	52
一般社団法人 あまね	54
森林塾青水	56
NGO スリヤールワ スリランカ	58
一般社団法人 野のゆり	60
NPO 法人 いのちのミュージアム	62
NPO 法人 親子の未来を支える会	64
一般社団法人 OPEN JAPAN	66

NPO 法人 市民ひろば なら小草	68
NPO 法人 つなげる	70
地域活動支援センター 北九州マック	72
一般社団法人 障がい者アート協会	74
NPO 法人 子育て応援レストラン	76
認定 NPO 法人 心臓病の子どもを守る京都父母の会	78
NPO 法人 ユニカセ・ジャパン	80
市川 晋一	82
鳥海山にブナを植える会	84
VO ひまわり	86
NPO 法人 おおむら里山村づくり委員会	88
NPO 法人 どうぶつたちの病院 沖縄	90

